

各文化部の特性に応じた留意事項について(6/13からの改訂版)

別紙3

部活動名	部活動の特性に応じた留意事項
演劇	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス等の激しい動きを伴う練習を行う場合は、屋外で行うか、生徒同士の距離を一層確保すること。 ・立ち練習等を行う場合は、部員同士2m以上の距離を取り、3密の状態にならないよう、演出などを工夫する。
合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏や合唱の練習で、発声したり、息を強く吐き出したり吸ったりする活動を行う場合は、可能な限り屋外で行う。
吹奏楽	<ul style="list-style-type: none"> ・金管楽器のマウスピースなど、洗浄できるものは毎日洗浄する。なお、楽器に悪影響がないように、方法については顧問が生徒に指示する。 ・吹奏楽器は、普通教室であれば、3人程度の人数を目安とし、横一列に2m以上の距離を取り、窓側を向いて練習する。 ・金管楽器など、可能であれば、外での練習を行う。 ・打楽器は、練習場所いっぱいになった体制で練習するなど、3密にならないよう工夫する。
器楽・管弦楽	<ul style="list-style-type: none"> ・練習時は譜面台を一人一台用意し、譜面の共有はしない。 ・チューナー、メトロノーム等を共有した場合は、適宜消毒を行う。
日本音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器や爪は共有せず、個人のもの、または固定して使用する。 ・楽器間の距離を確保し、演奏者の距離が少なくとも2mは離れるようにする。
郷土芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・面や笛など、顔や目鼻口が触れるものについては共用しない。太鼓の枹(ばち)など共用せざるを得ない場合は、使用者が代わる度に十分に消毒を行ってから使用する。用具の数量が足りる場合は共用しない。 ・消毒できない高価な楽器や用具については、消毒に耐える代用品を使用したり、廃品等から代用品を制作して活用するなど、工夫をして練習を行う。 ・演舞披露等で使用した用品は、必ず消毒を行う。
マーチングバンド・バントワリング	<p>(マーチング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外での練習を基本とし、間隔を確保する。 ・楽器演奏に伴う水滴の処理は、各人が布を準備しビニール袋等に入れ持ち帰る。 ・使用器具については、その都度消毒する。 <p>(バトン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体演技練習は、人が密接したり、接触したりする機会が少なくなるような練習内容にするなど工夫すること。
美術・工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・複数人で共用する道具や材料は、適宜消毒を行う。 ・制作時の会話は必要最小限にとどめる。
書道	<ul style="list-style-type: none"> ・毛氈を常に机上に出している場合は衣料用除菌スプレーなどを使用する。 ・机一台に1人というように十分な間隔をとった練習場所の工夫と、換気、手洗いといった基本的対策を心掛ける。 ・書道パフォーマンスのような集団での練習は、人が密集したり、接触したりする機会が少なくなるように工夫すること。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影会等では人と人との距離を十分に確保するようにする。 ・撮影機材の貸し借りを避け、共用しないようにする。 ・共用する機器は、適宜消毒を行う。
放送	<ul style="list-style-type: none"> ・共用する機器は、適宜消毒を行う。 ・発声を伴う練習は可能な限り屋外で行い、やむを得ず屋内で行う場合は、対面での活動を避け少人数に分かれる。
囲碁	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに(対局ごとに)手指の消毒やうがいを行う。 ・部室内や対局時など人との距離を意識し、3密を避けるよう行動する。
将棋	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに(対局ごとに)手指の消毒やうがいを行う。 ・部室内や対局時など人との距離を意識し、3密を避けるよう行動する。
小倉百人一首かるた	<ul style="list-style-type: none"> ・部室内や対局時など人との距離を意識し、3密を避けるよう行動する。
新聞	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンや筆記用具を共用する場合は、適宜、消毒する。 ・対面でのインタビューは行わず、2m以上の距離をとる。 ・編集の際は、距離を確保して行いが、やむを得ない場合は、マスクやフェイスシールドなどを活用する。
文芸	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の作品制作は、距離を確保して行う。 ・部誌制作等に関わる部集会等は、3密を避ける。
科学	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンなどの道具等を共用する場合は、こまめな手洗いや消毒を行う。 ・各種実験・観察において、機器や設備を共用する際にも、消毒、手洗いを徹底する。
茶道	<ul style="list-style-type: none"> ・茶筌等の共有する道具を使用する場合はその都度洗浄するが、個人用の物があればできるだけそれを用いる。 ・菓子やお茶などは自分でとりわけ、点てるようにする。 ・使用した茶碗は各自で洗浄する。 ・お稽古は対面を避け、2mほどの間隔を空けて行う。
華道	<ul style="list-style-type: none"> ・花鉈や花器、教本を共有する場合は、使用後に手洗いや消毒を行う。 ・生け方の講義と生け花演習の場を別にし、3密にならない工夫を行う(机配置は十分な距離をとる)。